

25 歳以下の参加者募集！

かごしまゼロカーボンラボ



地球のいまを学び、
私たちにできることを考えるワークショップ

— 若者が環境問題や気候変動と向き合う 5 回講座 —

南極地域観測隊員や三島村役場ジオパーク
専門員の経験ある気候変動の専門家。



大岩根 尚

合同会社むすひ 代表社員

美術館や芸術祭で普及ワークショップをつくる。
難しいことを楽しく伝える教育普及の専門家。



会田 大也

ミュージアムエディケーター

2020 年 9 月～2021 年 1 月 計 5 回

かごしま環境未来館 鹿児島市城西 2 丁目 1-5 (<https://www.kagoshima-miraikan.jp/>)

定員 30 名 ※応募多数の場合は抽選

参加費 無料

対象 中学生から 25 歳以下の方で鹿児島市に居住もしくは通学（通勤）する方が連携中枢都市圏（日置市、いちき串木野市、始良市）の居住者

《正しく知る》《楽しく伝える》—。研究と実践の経験豊富な 2 名の専門家を招いて、鹿児島が直面する気候変動について考えるワークショップを行います。

これは、鹿児島市が 2019 年 12 月に宣言した 2050 年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティかごしま」の実現にむけたアクションです。このラボを通して地球温暖化や気候変動の問題について考え、行動の輪を広げます。

鹿児島市は、25歳以下の若者を対象に環境問題を学び、広く人々に伝えるための5回連続ワークショップ「**かごしまゼロカーボンラボ**」を行います。これは、地球温暖化及び気候変動に対して若者がより関心を高め、行動の輪を広げていくことを目指したものです。プログラムには、南極や鹿児島県三島村での活動経験を持つ環境問題の専門家大岩根 尚氏と、アートセンターや大学、企業などとの独自の教育プログラムを手がけるミュージアムエドゥケーター会田大也氏を講師に迎えて、勉強会を重ねた後に参加者自身で考えたイベント企画を実施します。

《正しく知る》大岩根 尚 氏（合同会社むすび 代表社員）

今回、「かごしまゼロカーボンラボ」に講師のひとりとして参加するのは、東京大学で地質学・海洋地質学を専攻し、博士号をもつ大岩根 尚氏。北極や南極など極地の観測と総合的研究を行う「国立極地研究所」へ就職し、第53次南極地域観測隊として**南極内陸部の調査に参加**したという稀有な経験をお持ちです。2013年には**鹿児島県三島村役場に地球科学研究専門職員として着任**。地球科学の専門的な知識を活かしながら持続可能なまちづくりを推進する役割を担っていました。



国際的な視点で自然環境を調査研究し、また鹿児島に根ざした活動経験をも生かして、鹿児島市の環境問題や気候変動について、正しく学ぶ機会を参加者にお伝えします。

大岩根 尚（合同会社むすび 代表社員）

九州大学、東京大学で地質学・海洋地質学を専攻して博士（環境学）の学位を取得。その後、国立極地研究所へ就職し、第53次南極地域観測隊として南極内陸部の調査に参加。帰国後、2013年10月から三島村役場のジオパーク専門職員に。2015年にジオパーク認定取得後、2017年3月に三島村役場を退職。硫黄島に移住して「合同会社むすび」を立ち上げ、自然ガイドや大学の実習受け入れ、教育・研究のサポートを続けている。カードゲーム 2030 SDGs ファシリテーター。

《楽しく伝える》会田 大也（ミュージアムエドゥケーター）

そしてもうひとりの講師は、各地の芸術祭や美術館で鑑賞者に対して展示解説や各種の教育プログラムを行うミュージアムエドゥケーターの会田 大也氏。2012年の開館と同時にメディアアートを専門とする山口情報芸術センター[YCAM]の教育普及担当に着任。**子どもから大人まで幅広い層を対象にしたさまざまなオリジナルワークショップ**を開発し、メディアリテラシーや作品鑑賞の教育プログラムに従事してきました。その後、東京大学大学院にて情報および制度・経済の横串とグローバルな視点で現代の社会・経済システムの動態を理解し、**本質的な問題や可能性を発見する能力と技術を有する人材育成**=ソーシャルICT グローバル・クリエイティブ・リーダー[GCL]育成プログラムで特任助教として多くの学生と活動してきました。



会田 大也（ミュージアムエドゥケーター）

2000年東京造形大学造形学部デザイン学科造形計画専攻卒業。2003年情報科学芸術大学院大学 IAMAS 修了。2003年より11年間、山口情報芸術センター[YCAM]の教育普及担当として、メディアリテラシー教育と美術教育の領域にまたがるオリジナルワークショップや教育コンテンツの開発と実施を担当。一連のワークショップは、第6回キッズデザイン大賞を受賞。東京大学大学院ソーシャルICT グローバル・クリエイティブ・リーダー[GCL]育成プログラム特任助教（2014～19）を経て、2020年現在、YCAM 学芸普及課長。

2050年の鹿児島について若い世代と考える本ラボ事業をぜひご理解いただき、貴媒体にてこの取組をご紹介しますよう、よろしくお願いいたします。

【概要】

タイトル かがしまゼロカーボンラボ

日時 2020年9月～2021年1月 計5回
会場 かがしま環境未来館 鹿児島市城西2丁目1-5 (<https://www.kagoshima-miraikan.jp/>)
定員 30名 ※応募多数の場合は抽選
参加費 無料
対象 中学生から25歳以下の方で鹿児島市に居住もしくは通学(通勤)する方か連携中枢都市圏(日置市、いちき串木野市、姶良市)の居住者

講座内容

1回目 9月12日(土) 10:00～16:00 「環境問題、気候変動のいま」
講師：大岩 根尚(合同会社むすび 代表社員)
専門家から環境問題、気候変動について学びます。

2回目 10月24日(土) 10:00～16:00 「難しいことを楽しく伝える」
講師：会田 大也(ミュージアムエドゥケーター)
環境問題に楽しく取り組むためのアイデアを考えます。

3回目 11月7日(土) 10:00～16:00 「イベント企画を練る」
自分たちで考えている企画をより良いものに磨いていきます。

4回目 12月中開催予定 「イベントをやってみる」
自分たちで考えたイベントを実施します。

5回目 1月31日(日) 10:00～16:00 「イベントの振り返りと次のアクション」
講師：大岩 根尚(合同会社むすび 代表社員)
実際に行ったイベント企画を振り返り、次のアクションを考えます。

申込 1) メール 下記メールアドレスに必須項目(氏名/年齢/所属/電話番号/参加動機)を記載のうえ、送信してください。

ゼロ
kagoshima.0c.lab@gmail.com

2) 申込みフォーム

チラシに記載のQRコードより申込みください。



申込締切 2020年8月30日(日)

問合せ 050-3631-3606 ※9:00～18:00(土日祝を除く) kagoshima.0c.lab@gmail.com (担当：市村)
主催 鹿児島市 運営 市村整材 協力 SILASU

●広報のお問い合わせは下記までご連絡ください。

サンカイ・プロダクション合同会社 四元朝子 メール：contact@sankai-pro.com 電話：080-4157-5531